

WHIグループ行動規範

人に真価を。



社員の皆さん

WHIグループは、すべての人が真価を発揮し、「はたらく」を楽しくする社会を実現するという使命と、多くの日本の大手法人グループ・公共事業体を支えるという責任があります。

また、ESGやサステナビリティ等、企業の社会的責任に関する要請も、日々高まっています。

この使命と責任を果たすには、社員一人ひとりの方が共通の行動基準を持ちながら、倫理、規律、個人の尊厳を尊重する企業文化を醸成し、企業と社員の双方が持続的に成長できる環境を作る必要があります。

以上の背景を踏まえ、このたび、我々の使命と責任を達成するための土台として、「WHIグループ行動規範」を策定しました。これは、社員一人ひとりの方が日々行動するための共通の指針であり、判断に迷ったときの拠り所となるものです。

行動規範をふまえた社員一人ひとりの方の行動の積み重ねが、お客様、取引先、投資家、皆さんおよびご家族、社会等のすべてのステークホルダーからの信頼を獲得することにつながります。

使命を実現し、責任を果たし続ける企業であるために、常に行動規範の実践を心がけてください。

株式会社WHI Holdings
代表取締役最高経営責任者
安齋 富太郎

基本精神・行動規範の位置づけ

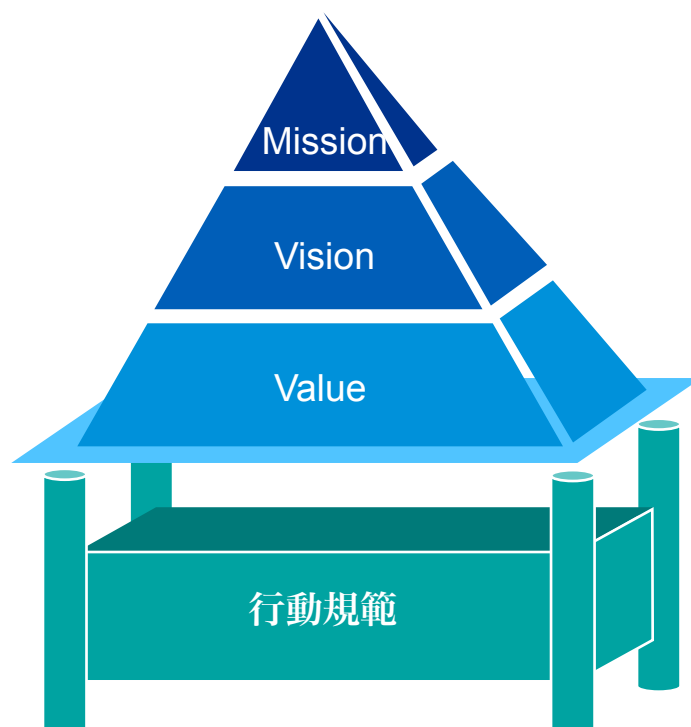
WHIグループの社員は、製品・サービスを通じてお客様の人事・給与・労務を支えるという、社会インフラとしての重大な責務を担っています。

この責務を果たすためには、法令はもちろん、社内外のルールやガイドライン、企業倫理や社会通念等に則った行動をとることが欠かせません。

この「WHIグループ行動規範」（以下「行動規範」とします。）では、WHI Holdingsおよびグループ各社（以下「WHIグループ」とします。）の社員に求められる倫理的な行動を示しています。

ここで示される倫理や規律は、Mission・Vision・Valueの土台そのものであり、一人ひとりがこの行動規範を理解し、同じ価値観のもとで行動することが不可欠です。

日々の業務の中で判断に迷うことがあった場合は、この行動規範に立ち返り、社会的責任を果たすためにとるべき行動を導き出しましょう。



人に真価を。

判断に迷ったときの考え方

この行動規範ではカバーできない事態や困難に直面した場合は、関係するルールを確認したり、関係部門に相談するとともに、以下の観点で自分がとるべき行動を深く検討してください。

また、自分自身がとるべき行動に悩んだ場合は、ためらわずに上司や同僚の助けを求めたり、ヘルプライン等への報告・相談を行ってください。

自分一人で抱え込むことなく、会社全体として倫理的な判断を導き出すことが大切です。

<観点>

その行動は、

- 法律や社内外のルールに則っていますか。
- Mission、Vision、Valueに沿っていますか。
- 同僚や、自分の家族、友人に対し、正しいことであると説明できますか。
- お客様や取引先、社会に向けて、正しいことであると説明できますか。

違反懸念の相談（Speak Upの奨励）

問題を発見した場合には、WHIグループとして速やかに対処し、解決に向けた行動をとることが必要です。

法令や社内規程への違反行為、行動規範に反する行動、その他倫理に反する行為や、これらのおそれを把握した場合は、ためらうことなく、速やかに上司やヘルプラインへの報告・相談・通報を行ってください。

WHIグループは、周囲への報告や相談を行いやすい環境づくりに努めるとともに、報告等のあった問題に対しては、速やかに調査・解明を行い、解決に向けて真摯に対応します。

また、報告等の対応や調査にあたっては関係者の秘密を守ります。

通報や相談、調査協力をした人に対する一切の報復行為を許しません。

WHIグループおよびビジネスパートナーへの 行動規範の周知・浸透

WHIグループの社員は、一人ひとりが行動規範を深く理解し、実際に行動し、お互いに働きかけることで、行動規範を体現します。

一人ひとりの行動の積み重ねにより、倫理、規律、個人の尊厳を尊重する企業文化を醸成します。

また、WHIグループの社員の使命である社会課題の解決には、お取引先・委託先の皆様をはじめとするビジネスパートナーとの共創が不可欠という考え方にに基づき、ビジネスパートナーの皆様にも、この行動規範について、ご理解とご協力をいただきたいと考えています。

事業活動を通じて、倫理的な行動を徹底し、ビジネスパートナーの皆様とともに「人に真価を。」提供することができるよう、公正で緊密な関係性を築きます。

1. お客様の価値創造を通じた社会課題の解決

知恵とテクノロジーにより製品・サービスを進化させ続けることで、お客様の課題、ひいては社会の課題を解決することこそが、WHIグループの社員の使命です。

お客様と社会の課題を解決するためには、社会の動向や技術の進化を常に把握し、お客様のニーズを洞察することが不可欠です。

一人ひとりが企業倫理や社会通念に則った行動をとりながら、自分自身の業務の品質を高めることで、お客様、取引先、委託先をはじめとするステークホルダー*のニーズや期待に応える質の高い製品・サービスを提供し続けることが求められます。

*ステークホルダー：お客様、取引先、委託先、投資家、同僚およびその家族やパートナー・友人等、各種団体、社会等の利害関係者

1.1. 本質的な問題把握による社会課題の解決

- 社会の動向や技術の進化を常に把握し、お客様、取引先、委託先、同僚をはじめとするステークホルダーとの対話を通じて、お客様、ひいては社会が求める本質的なニーズを洞察します。
 - 洞察したニーズを満たすことができるよう、一人ひとりが誠実に業務に取り組むことで、社会課題を解決する製品・サービスを提案し続けます。
-

1.2. 質の高い業務の提供によるお客様価値の創造

- HR領域のパートナーとしてお客様のビジネスを支える品質の高い製品・サービスを提供し続けることにより、お客様の価値を創造します。
 - 一人ひとりが質の高い業務を提供し、こだわりをもって改善を積み重ねることによって、質の高い製品・サービスを提供し続けます。
-

1.3. お客様への正確で誠実な説明

- お客様や取引先、社会から最も信頼される存在となるよう、製品・サービスをはじめとした事業活動に関する情報を誠実かつ正確に説明します。
 - 事実と異なる説明や誇大な表現、他社の信用を貶めるような言動は行わず、推測や思い込みによって誤った理解や認識を生まないよう、事実に基づいた明快なコミュニケーションを行います。
-

1.4. 丁寧で迅速なサービスの提供と不断の改善

- 製品・サービスのユーザーであるお客様、取引先・委託先はもちろん、社内の業務の提供先である同僚を含む、すべてのお客様に誠実に向き合い、丁寧なサービスの提供を行います。
 - お客様や取引先、委託先をはじめとするステークホルダーから問い合わせや要望・苦情があった場合は、速やかに共有し、組織として、誠実に対応します。
 - WHIグループに寄せられたご意見を、関係者で共有することで、製品・サービスをはじめとする業務のたゆまぬ改善に取り組みます。
-

2. 価値創造に向けたテクノロジー・資産の活用

WHIグループは、HRテック業界のリーディングカンパニーとして、お客様の価値を創造し続けます。

WHIグループの知的財産、技術やノウハウ、情報やデータ、ソフトウェア、機器等のあらゆる資産を活用し、またお客様、取引先・委託先等のビジネスパートナー等と知恵を出し合うことが、お客様の価値創造の源となっています。

高い倫理観を持ってWHIグループの資産を適正に取り扱うとともに、WHIグループのみならず、お客様・取引先・委託先をはじめとするステークホルダーの資産についても厳正に管理することが、お客様の価値創造を行うための第一歩です。

2.1. 先端技術等の活用によるお客様価値の創造

- HR領域における技術やベストプラクティスを生み出してきた知恵やノウハウを活かし、イノベーションを起こすことで、お客様の価値を創造します。
 - 先端技術等の活用にあたっては、関連する政府や業界団体の指針・ガイドラインを遵守のうえ、プライバシーやセキュリティに配慮し、社会課題の解決と人々の権利の尊重の両立を図ります。
-

2.2. 資産の尊重・活用による課題解決

- 知的財産、技術やノウハウ、WHIグループ社員が作成したりお客様からお預かりした情報やデータ、ソフトウェア、PCやスマートフォン等のデバイス等のあらゆるWHIグループの資産が、問題解決力および価値創造の源であることを認識し、WHIグループの規程等に則って大切に扱うとともに、有効に活用することで、お客様の価値を創造します。
 - 知恵や知的生産活動の結集である知的財産すべてに敬意を払い、他者がWHIグループの知的財産を尊重することに期待するとともに、WHIグループも他者の知的財産を侵害せず、尊重します。
 - 他者のプログラムを無断で使用・複製・改変するなどの知的財産の侵害行為は決して行いません。
 - WHIグループの資産は業務目的のみに使用し、不適切な持ち出し等を行わず、適切に管理します。
-

2.3. 機密情報・個人情報の厳格な保護

- 個人情報を含む機密情報について、その重要性を理解し、高い倫理観を持って、法令やWHIグループの規程等に則って適切に取り扱います。
 - 業務上知ることとなった個人情報、営業情報、技術ノウハウ等の機密情報を漏えいしたり、自身や他社、第三者のために利用することは決して行いません。
 - 機密情報についてWHIグループ内で共有する場合も、業務上必要な関係者以外への共有は行いません。
 - 一切の機密情報について、不正な目的や手段による取得は行いません。
 - 情報漏えい事案を発見した際は、速やかに上司等に報告を行うとともに、事実関係や影響範囲の特定に努め、拡大防止や再発防止のために最善を尽くします。
-

3. 法令遵守を徹底した事業活動

お客様をはじめ、取引先、委託先、投資家、社会等のあらゆるステークホルダーから信頼を得ることは事業活動の基礎となります。あらゆる取引先等と公正な取引を行い、WHIグループおよびWHIグループ社員に適用されるすべての法令、規則、規制等を遵守することは、WHIグループおよびWHIグループの社員自身がその保護を享受することにもつながります。

たとえ、お客様のため、WHIグループのためであっても、また、たった一人の行動であっても、法令やWHIグループの規程、企業に求められる倫理・社会的責任を無視または軽視した行動をとれば、ステークホルダーからの信頼を一瞬にして失うこととなります。

法令遵守を徹底し、高い倫理観を持って行動することが、事業活動の土台であると認識し、必要に応じて上司や同僚、関係部門の助けを得ながら、法令や企業倫理に則った行動を徹底します。

3.1. 利益相反の禁止

- 業務の遂行にあたって、自分自身の家族や親族、友人との間での取引等が発生する場合等、自分自身の利益とWHIグループの利益が衝突することがないか注意深く確認を行います。
 - 自分自身の利益とWHIグループの利益が相反する場面またはそのおそれがある場面に遭遇した場合、速やかに直属の上司や法務部門に報告し、軽減・回避のための措置をとります。
-

3.2. 誠実で公平な取引活動

- あらゆる取引先・委託先はもちろん、競合先の企業に対しても公平・公正に対応し、WHIグループの事業活動に適用される法令やWHIグループの規程等を遵守します。
- 取引の実施にあたり、下請法や購買に関する手続きを遵守し、取引先への代金の支払い遅延、偽装請負、契約上の地位等を背景とした不当な取り扱いや要求等を行いません。
- カルテルの締結、入札不正、不当な取引制限等を行わず、独占禁止法等の競争法を遵守します。
- 国境を越えた情報・技術データの送信・持ち出し、特定の国や法人等との取引にあたって、貿易・情報管理等に関する法令を遵守します。
- 資金洗浄（マネー・ローンダリング）やテロリズムに関与せず、疑わしい取引やそのおそれがある依頼や接触を把握した場合には直ちに直属の上司や法務部門等に報告を行います。

3.3. ビジネスパートナー・政府等との公正な関係（腐敗・贈収賄の防止）

- 公正かつ透明性のある取引に努め、個人的な関係性や利益・見返りによる影響を排除し、取引の目的、製品・サービスの特徴や品質・価格等を公平に評価して取引先を選定します。
 - 国内外の公務員はもちろんのこと、取引先・委託先などのビジネスパートナーおよびその候補となる相手に対し、不当な利益の提供や優遇措置を目的として接待、贈答、寄付や費用の負担、金銭の授受のほか、職業のあっせんや無償のサービス等の利益を提供する行為を行いません。
 - 政府関係者との間で贈答・接待、金銭の負担や利益の提供等を実施する際は、事前に承認を取得するとともに、不当な働きかけは行いません。
-

4. 仲間と共に楽しめる職場づくり

WHIグループは、誰もが「はたらく」を楽しめる社会を実現することを目指しています。

そのためには、WHIグループすべての社員が互いの考え方や価値観を尊重し合い、社員はもちろん、社員の家族やパートナー、友人等の大切な人々にとっても安心・安全な職場環境をつくるのが欠かせません。

それぞれの社員のキャリアや多様な働き方に応じて、失敗を恐れず挑戦し、自律的に成長できる環境を作ることで、WHIグループおよびWHIグループ社員が最も「はたらく」を楽しみます。

4.1. Diversity & Inclusion, Fair Treatment & Equal Opportunity

- 一緒に働く仲間を尊重し、相互に信頼しあい、お客様の価値を共創することのできる職場環境をつくることを通じて、WHIグループと社員の双方の成長に貢献します。
 - 国籍、性別、性自認、性的指向、年齢、信条、障がいの有無または社会的身分等を問わず、一人ひとりの多様性を受け入れるとともに、これらを理由として、採用・昇進・昇給・人事評価や配置に関して不合理な取り扱いはいりません。
 - 社員に平等に提供される成長機会を主体的に活用しながら、成果を公平に評価しあう環境づくりを行います。
-

4.2. 自律的なキャリア形成と成長

- それぞれの社員の志向や適性、働き方に応じて自律的にキャリア形成に取り組みます。
 - WHIグループの支援策やトレーニングの機会を活用して、チャレンジ精神をもって、自発的に専門能力を高めます。
-

4.3. Work Life Mix

- それぞれの社員のライフステージの変化、個別の価値観、家庭事情等を一緒に働く仲間として尊重します。
 - 多様で柔軟な働き方ができる制度を活用します。
 - 仕事とプライベートを共存させるWork Life Mixを推進することを通じて、社員全員が仕事にもプライベートにも全力を出すことができる職場づくりを行います。
-

4.4. ハラスメントの防止

- 一緒に働く仲間一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、セクシュアルハラスメントや妊娠・出産、育児・介護休業に関するハラスメント、パワーハラスメントをはじめとした各種ハラスメントを発生させません。
- 見て見ぬふりをすることは、自分自身がハラスメント行為の加害者になることと同じであると理解し、ハラスメントに該当するおそれのある行為を見つけた場合には、上司、ハラスメント相談窓口、外部相談窓口等に相談または通報を行います。

4.5. 安心して安全な職場環境の維持（過重労働・労働災害の防止等）

- お客様の価値を創造する土台として、社員が健康に働くことが重要であると考えます。
 - 一人ひとりが仲間の健康、ひいては、仲間の大切にしている家族やパートナー、友人等の人たちにも誇れる、安心して安全に働くことができる環境をつくります。
 - 過重労働や労働災害等を発生させないよう、適正な労働時間管理・安全衛生対策を徹底するとともに、健康増進のための施策に積極的に取り組みます。
-

5. 仲間との共創に向けた人権の尊重

WHIグループおよびWHIグループ社員は、ビジネスパートナーとともにお客様の価値を共創するために、人権に関する国際指針・規制に則った対応を行います。

ビジネスの過程で人権侵害が生じる場合、持続可能な事業活動を行うことはできません。

お客様や社会からの信頼に応えるため、ビジネスパートナーとともに、あらゆるステークホルダーの人権を尊重します。

5.1. 不当な取り扱い・差別の禁止

- ビジネスパートナーを含む事業活動全体において、国籍、性別、性自認、性的指向、年齢、信条、障がいの有無または社会的身分等を理由とした不当な取扱いや差別が生じないよう協力します。
 - 強制労働や児童労働に関与しません。
-

5.2. 人権問題への対応

- 高い倫理観を持ち、事業活動において人権侵害が生じないかに留意し、懸念を発見した場合は、速やかに上司や人事部門や法務部門等の関係部門に報告し、影響を受ける個人や集団等に生じる問題の解消に努めます。
-

6. お客様の価値創造を止めないための危機管理

WHIグループの製品・サービスは、人事・給与・労務に関する社会インフラとして重要な役割を果たしており、お客様の個人情報をはじめとする機密情報を多数取り扱っています。そのため、ひとたびWHIグループのシステムやサービスが停止したり、大切なお客様の情報が流出した場合の影響は、測り知れません。

WHIグループは、HRテック業界のリーディングカンパニーとしてお客様の価値を創造し続けるため、サービスの停止、情報の漏えいが起きないように危機管理対策を徹底し、事業活動への悪影響を最小化する責務があります。

6.1. 危機管理体制の整備

- サイバー攻撃、自然災害、テロ・紛争等の危機に対し、平時からの情報収集や日々のセキュリティ対策等に取り組み、安定的なサービスの提供と資産の保護を行います。
 - 緊急事態の発生時には、上司に報告し指示を仰ぐとともに、ヘルプライン等への報告を行います。
 - サイバー攻撃や不正アクセス、大量の個人情報の誤送信・紛失等、情報セキュリティ上の脅威やインシデントを認識した場合には、速やかに情報セキュリティに関する連絡先に報告を行います。
 - 緊急事態の速やかな復旧やサービス維持および解決に向けて、責任をもって行動します。
-

6.2. 反社会的勢力の排除・対処

- 反社会的勢力に対し、毅然とした姿勢で、組織的に対応します。
 - 反社会的勢力との取引を遮断し、一切の関係を持ちません。
 - 反社会的勢力からの不当な要求には絶対に応じません。
 - 万一、物品等の購入や協賛金等の支出に関する要求、WHIグループ側のミスやスキャンダルに乗じた不当な要求等、反社会的勢力または反社会的勢力と疑われる組織もしくは人物からの接触があった場合、不当要求対応マニュアル等の関連するWHIグループの規程等に従い、速やかに上司や総務部門に報告し、その指示に従って対応します。
-

7. ステークホルダーとの誠実な対話

企業活動においては、お客様、取引先、委託先、投資家、メディア、社会といったステークホルダーの間での適切なコミュニケーションが欠かせません。

株主、投資家に対しては、成長戦略や、正確な財務情報を適時・適切に開示するとともに、ガバナンス等に関する非財務情報についても誠実に開示していくことが信頼の獲得につながります。

ステークホルダーに対して、正確でわかりやすく、活発で誠実な広報活動を行っていくことは、WHIグループの信頼・ブランドの維持・向上につながります。

7.1. 正確な記録の作成・報告・保管

- 正確な財務状況の把握、適切な経営判断や財務報告等の実施のため、取引等について、正しく記録を行います。
- 正確な会計処理の実施のため、経費支出、契約処理、物品管理、人事労務等について、適時にかつ適切な方法で処理するとともに、問題となるおそれがある場合を含め、包み隠すことなく報告等を行います。
- 法令や会計慣行、WHIグループの規程等に従い、適切に会計処理を行い、会計不正や、証拠・記録の改ざんは決して行いません。
- 保管が必要な記録については、不適切な修正や変更、欠落や散逸等が生じないように、適切な方法で、定められた期間、保管を行います。

7.2. 重要情報の管理および不適切な株式等の売買等の禁止

(インサイダー取引の防止)

- WHI Holdings、その子会社およびその取引先に関する未公表の重要情報に基づき、その公表前に株式等を売買等する行為（インサイダー取引）について、市場の信頼を揺るがす行為として、利益があるかどうかにかかわらず違法となることを理解し、決して行いません。
 - 職務上、未公表の重要情報を取得した場合は、高い倫理観を持って厳正に管理し、WHIグループが定めるルールに従い、業務上の必要性を超えて他者への伝達を行いません。
 - 取得した未公表の重要情報を基に、他の人物に株式等の売買を勧める行為は決して行いません。
-

7.3. ステークホルダーとの対話、広報・IR活動

- 広報・IR活動を通じて、幅広いステークホルダーとの間で、双方向的で充実したコミュニケーションをとります。
- 広報・IR活動においては、ステークホルダーに対し正確で誠実な発信を行います。
- ステークホルダーからの声に真摯に耳を傾けることで、企業活動全体の改善に繋がります。

7.4. メディア対応・SNSの利用や公的発言

- マスコミ等のメディアに対し、広報部門等の関係部門を通じて正確、誠実に対応します。
 - メディアからの問い合わせ等を受けた場合は、その場で回答等をせず、速やかに広報部門に問い合わせるように伝えとともに、投資家や証券会社から問い合わせ等を受けた場合も、IR部門に問い合わせるように伝えます。
 - WHIグループ各社の承認を得ずに、WHIグループ各社を代表したり、WHIグループ各社を代表していると受け取られるような発言・メディア対応等を行いません。
 - ソーシャルメディア等で私的な発信をする場合であっても、個人としての意見であることを明らかにし、WHIグループ、お客様、取引先、委託先、同僚をはじめとするステークホルダー、およびその製品・サービス等について名誉や信用を損なうような意見を発信しません。
 - ソーシャルメディア等での発信にあたっては、機密情報を厳守することはもちろん、不特定多数の人々の目に触れること、および発信等の内容が自分自身やWHIグループに対する社会的評価に影響しうることを認識し、他者への尊厳と敬意を持った発信を心がけます。
-

8. 環境問題に配慮した事業活動

環境問題は人類および地球全体の共通のテーマであり、人々が知恵を結集して解決すべき重要な社会課題です。

企業は、2050年カーボンニュートラルの実現等、環境問題の解決に向けて重要な役割を果たすことを国際社会から期待されています。

企業の社会的責任を果たしていくためには、事業活動における環境への配慮が不可欠です。

8.1. 脱炭素社会・循環型社会・生物多様性に関する対応・対策

- 環境問題の解決に誠実に向き合い、製品・サービスの提供や調達活動において、環境への負荷の軽減に努めます。
 - 限りある資源やエネルギーを有効活用し、自然資本を尊重することにより、脱炭素社会・循環型社会の実現、生物多様性の保全に貢献します。
-

9. 社会参画と貢献

WHIグループは、HRテック業界のリーディングカンパニーとして、多くのお客様に製品・サービスを提供してきた実績を有しています。

WHIグループおよびWHIグループ社員が積み上げた実績や知見を活かし、デジタル化や働き方等の分野において社会貢献活動を推進することで、お客様とともに創り上げた価値を、誠実に社会に還元し、企業の社会的責任を果たします。

9.1. ステークホルダー等との連携

- 製品・サービスの提供、社会への提言、調査・研究活動、セミナー・フォーラムの開催等にあたり、ユーザーコミッティ・業界団体・行政機関・学術機関等のステークホルダーと協働します。
 - これらのステークホルダーとの対話や連携を通じ、より高い価値を共創することで、社会に有益な還元を行います。
-

10. リーダーによるコミットメント

経営トップや管理職は、WHIグループの理念や経営に関する情報を可能な限り発信し、社員と対話を行うとともに、行動規範において求められる行動を社員に確実に理解させ、文化として定着させる責任があります。

そのためには、経営トップや管理職自身が模範となって、行動規範で求められる行動を実践し、社内全体やチームに浸透させていくことが重要です。

10.1. トップによるコミットメント

経営陣は、

- お客様や社会のニーズ、テクノロジーの進化、社会情勢や企業倫理の変化を常に敏感に捉えます。
 - 経営に関する方針や戦略、WHIグループにおける倫理や規律の在り方を社員に示し、社員と対話を行い、社員と共にWHIグループの進むべき方向を導きます。
 - 企業風土の形成にあたり、重要な役割を担っていることを自覚します。
 - 社員の模範として、行動規範で求められる行動を主体的に実践します。
 - 社員との対話、会議や研修、Webサイトへの掲載等を通じて社内外にメッセージを発信し、行動規範の周知・徹底を促します。
 - 持続的な成長を実現できるよう、ガバナンスの実効性を確保し、健全な経営を実現します。
-

10.2. 管理職の責任

管理職は、

- 社員の模範として、行動規範で求められる行動を主体的に実践します。
 - 社員が行動規範に則った行動をとれるように、理解を促し、適切な助言を行います。
 - 社員が率直に問題や懸念を報告・相談できる関係を築き、社員の声に対し誠実に耳を傾けます。
 - 社員からの提案や相談等について、公平・誠実に対処し、必要に応じて関係部門に連携します。
-